

第5回 食品安全文化の可視化に関する研究会

【ガイダンスチーム】議事概要

日時： 2025年12月3日（水） 14:00～

場所： オンライン（Teams）／農林水産省共用第一会議室

次第

1. ガイダンス資料（実施前・実施後）の最終化に向けた更新状況
2. 食品安全文化ツールの意義・実施理由のブラッシュアップ
3. アンケート結果の分析方法と注意点（多角的分析の具体化）
4. 評価シート（Excel）の操作性向上と分析事例（C社）の紹介
5. ベストプラクティス（事例紹介）の具体化
6. 来年度の運用・公開に向けた進め方

情報共有

- 「実施前ガイダンス」の更新： ウェブ上での見え方やデザインを考慮し、実施前・実施後の流れを整理。実施理由についても最新のフィードバックを反映しアップデートした。
- 「実施理由と意義」の追記： 「数値だけで判断しない」という意見を反映。アンケート結果を改善計画の策定に役立てる「インプットの一つ」として位置づける方針を共有した。
- 評価シートの活用事例： Formsを利用した際の画面イメージや、Excel評価シートへのデータ反映方法（属性のコピー等）、C社の事例を用いた分析手法（全体傾向と属性別の比較）を共有した。
- ベストプラクティス（3例）： 1. 感謝・表彰（レコグニション）、2. 現場の声（個別面談・ヒアリング）、3. 食品安全習慣（クイズ・イベント等）のドラフトを提示。

意見交換

- 表現・用語の精査：
 - 「食品安全はリスクである」という表現は誤解を招く恐れがあるため、「食品安全事故の最大のリスクであり」「行動が要因となる」といった、より理解しやすい表現への変更を検討。
 - アンケートで「強み・弱みを知ることができる」と言い切るのではなく、コンサルティングの観点から「知ることが期待できる」と表現を和らげる提案があった。
- 分析の考え方：
 - 「多角的分析」とは何かを具体化。数値だけでなく、面談、提案箱の内

容、不良品発生率、クレーム、指摘事項などと突き合わせる重要性を明記する。

- 冗長になりすぎないよう、注釈（コメ印）を活用してデザインを整理する。
 - 評価シート（Excel）の操作性：
 - 属性（製造部門等）を切り替えるとグラフが連動する仕組みについて、マニュアルがないと分かりにくいという指摘。問い合わせが多い箇所を重点的に解説する必要がある。
 - 標準機能と、ユーザーが独自に加工（エクセルでグラフ化）する部分を明確に分ける。
-

決定・確認事項

- 意義の再定義：「食品安全文化向上のための改善計画を策定する際のツール」として冒頭に定義し、数値化はあくまで現状把握の手段であることを強調する。
 - 用語・構成の修正：「カテゴリー」「属性」等の用語を最新版に合わせる。評価シート（Excel）内の文言も、最新のプラッシュアップチームの結果を受けて整合性を取る。
 - デザインの統一：FCP（食品安全検定等）のテンプレートに合わせたデザイン調整を行い、Word や PDF、PowerPoint の最適な形式で公開する。
 - ベストプラクティスの掲載：具体的な会社名は伏せつつ、事例などを参考に、現場で楽しく取り組める事例として 3 件を掲載する。
-

今後の対応（アクション）

- ガイダンス資料の最終化：本日議論した「期待できる」等の文言修正、注釈の配置変更を行い、ファイルを 1 つにまとめたフルバージョンを作成する。
- 評価シートマニュアルの整備：データのコピー＆ペースト（言語設定や数字の扱い）の注意点や、属性切り替えによる可視化方法について、キャプチャを交えた説明資料を作成する。
- ブラッシュアップチームとの整合：最新の質問項目や側面の分類が反映されているか確認し、データシートのバージョンを最新に更新する。
- ウェブ公開の準備：事務局と連携し、実施前・実施後に合わせた適切なタイミングで資料がダウンロードできるような導線を設計する。

以上